

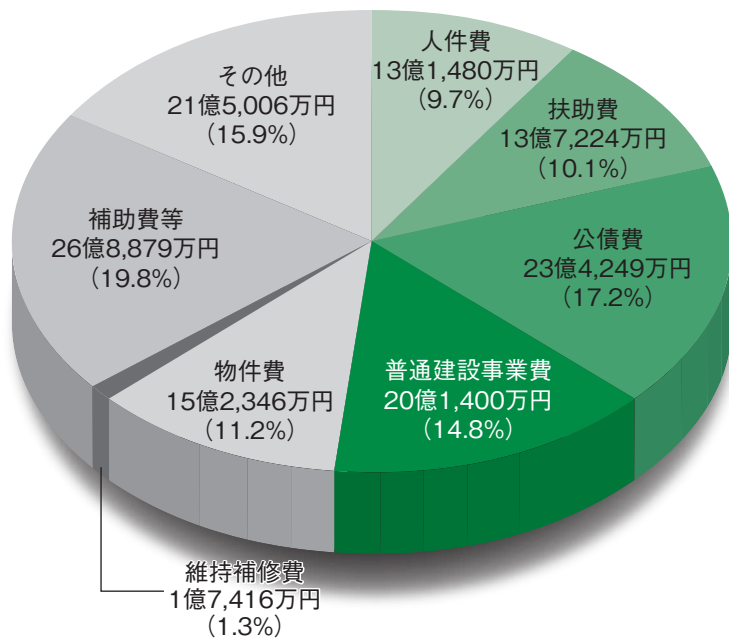
平成30年度の主な事業

・神話とたたら製鉄の郷 奥出雲の仕事づくり事業	1,821万円
・路線バス整備事業	2,576万円
・地域情報化施設設備整備事業	8,684万円
・まち・ひと・しごとセンター関連事業	2,104万円
・コミュニティセンター設備改修事業	6,705万円
・可燃物処理センター施設改修事業	5,496万円
・最終処分場水処理施設改修事業	3,380万円
・玉峰山荘大規模改修事業	2億1,156万円
・中山間地域等直接支払交付金事業	3億6,053万円
・多面的機能支払交付金事業	2億1,645万円
・農業基盤整備促進事業	3,490万円
・プレミアム付商品券発行事業	1,077万円
・除雪車購入事業	5,250万円
・町道等道路整備事業	7億1,843万円
・橋梁長寿命化補修事業	5,136万円
・三成公園ホッケー場整備事業	5,340万円
・消防ポンプ車整備事業	2,356万円
・耐震性貯水槽設置事業	4,019万円
・教育魅力化関連事業	2,350万円
・三成小学校整備事業	4,607万円
・横田小学校プール改築事業	1,873万円
○平成29年度からの主な繰越事業	
・町道等道路整備事業	2億4,873万円
・三成公園ホッケー場整備事業	3億1,210万円
・公共土木施設災害復旧事業	1億5,440万円

会計別の当初予算

会計名		当初予算額
一般会計		135億8,000万円
特別会計等	国民健康保険事業	15億6,571万円
	後期高齢者医療保険事業	3億8,363万円
	介護老人保健施設事業	3億5,798万円
	介護サービス事業	3億8,120万円
	訪問看護ステーション事業	2,778万円
	公共下水道事業	2億8,010万円
	農業集落排水事業	5億2,850万円
	合併処理浄化槽事業	1億7,130万円
	仁多発電事業	1億3,280万円
	三井野原スキーリフト事業	1,738万円
	国営農地開発事業	501万円
	農業用小水力発電事業	2,825万円
	奥出雲病院事業	24億9,070万円
	水道事業	12億3,450万円
特別会計等 計		76億484万円
合計		211億8,484万円

性質別に歳出を見てみると…



用語の説明

人件費	職員・特別職の給与、議員・各委員会委員の報酬などに使うお金
扶助費	生活保護、児童手当、医療費などに使うお金
公債費	道路、公共施設整備などのために借り入れた町債の返済に使うお金
普通建設事業費	道路、橋、学校、公園などの建設、整備に使うお金
物件費	業務委託料、使用料、物品調達などに使うお金
維持補修費	公共施設などの修繕に使うお金
補助費等	各種事業、団体への補助金や負担金として使うお金
その他	投資及び出資金、貸付金、積立金などに使うお金



平成30年度当初予算

町民1人あたり

165万6,749円

※人口 12,787人 (4月1日現在)

一般会計 135億8,000万円

前年度当初予算 (144億4千万円) と比較して6.0%、8億6千万円の減

議会費

町議会の活動・運営のためのお金
8,580万円 (0.6%)

総務費

一般的な管理事務、徴税、戸籍、統計、選挙などのお金

民生費

生活保護、児童手当などの福祉のためのお金

衛生費

ごみ処理の経費や健康増進のためのお金

労働費

失業対策や勤労者の福利厚生のためのお金
1,404万円 (0.1%)

農林水産業費

農業・畜産業・林業の振興のためのお金

商工費

商工業や観光の振興のためのお金
1億8,033万円 (1.3%)

土木費

道路や公園、住宅の整備・維持管理のためのお金

消防費

消防活動のためのお金
4億3,699万円 (3.2%)

教育費

小・中学校教育、公民館などのお金
6億9,230万円 (5.1%)

公債費

借入金の返済のためのお金

諸支出金

普通財産を取得するためのお金
1,000万円 (0.1%)

予備費

予定外の支出、予算を超過した支出へ対応するためのお金
800万円 (0.1%)

歳出

19億7,983万円 (14.6%)

22億1,552万円 (16.3%)

17億4,496万円 (12.8%)

19億6,161万円 (14.5%)

19億811万円 (14.1%)

23億4,251万円 (17.2%)

歳入

11億7,660万円 (8.7%)

5億4,127万円 (4.0%)

7億4,932万円 (5.5%)

依存財源

64億9,800万円 (47.9%)

14億2,620万円 (10.5%)

10億2,288万円 (7.5%)

11億5,628万円 (8.5%)

町税

町民税、固定資産税など

繰入金

基金 (貯金) や特別会計から入ってくるお金

使用料及び手数料

情報や公民館の使用料、証明書の交付手数料など
3億3,251万円 (2.5%)

分担金及び負担金

事業の実質負担などのお金
9,396万円 (0.7%)

寄附金

ふるさと応援寄附金など
2億540万円 (1.5%)

諸収入ほか

どの費目にも含まれない収入

地方交付税

税収の少ない町に一定のサービスが提供できるよう、国から交付されるお金

町債

施設整備や道路改良などのために国や金融機関から借り入れるお金

県支出金

県が認めた特定の事務事業に対して交付されるお金

国庫支出金

国が認めた特定の事務事業に対して交付されるお金

地方消費税交付金

国が徴収した税金から基準に従い交付されるお金
2億2,270万円 (1.6%)

地方譲与税

国が徴収した税金から基準に従い譲与されるお金
1億2,130万円 (0.9%)

利子割交付金ほか

県が徴収した利子に掛かる税金から交付されるお金など
3,358万円 (0.2%)

歳入

▼町が主体的に収入している自主財源は30億9,906万円 (全体の22.9%)、このうち町税が11億7,660万円、前年度比0.3%増、寄附金が2億5,400万円、ふるさと応援寄附金収入の増などにより前年度比24.4%増となっています。

また、普通建設事業等に伴う新規町債発行を抑制したことと、国、県支出金などを含めた依存財源は104億8,094万円 (全体の77.1%) で、前年度と比べ3.8%減少しました。

歳出

▼町で借り入れた町債の返済や人件費などの義務的経費は50億2,953万円 (全体の37.0%) となっています。

建設事業等の予算は20億1,400万円 (全体の14.8%) を計上し、繰越事業9億7,183万円と併せ、町の基盤整備に努めます。

また、補助費や物件費などの消費的経費は、前年比0.5%減の43億8,641万円 (全体の32.3%) を計上しています。

当初予算の特徴

歳入